

里山探訪 やまの恵みたち

いよいよ秋本番、里山が一番活躍する季節です。
この時期に採れる木の実のひとつに
オニグルミ(鬼胡桃)があります。
秋には緑色の実が葡萄のように房状に実ります。
オニグルミは野生種のクルミですが容易に拾い集めることができることから、古くから山村の栄養源として重用され、これを利用した料理、菓子なども数多くあります。
竹田でもあちこちで見かけますが佐藤義美記念館『このこのうち』の真上にある木も本種です。



一建落着



S邸(直入)

シンプルですが、“ひとに優しく”を主眼に内部は機能的に仕上げました
ちょっと遊び心で、“犬走り”の縁石の代わりに線路の“枕木”を敷いてみました

～ お知らせ ～

このたびホームページを開設致しました。
『和』や川野和男の版画も掲載しています。
一度ご覧になって、ご感想をお聞かせ下さい。
アドレスはこちら
<http://www6.ocn.ne.jp/~k-kawano>



改修前

K邸(竹田・田町)

かつての店舗が、
町屋へと大変身
外観の格子が、アクセント

発行人 川野和男
編集 川野組内
家造り匠の会
☎ 竹田62-2416
メール tkk22@theia.ocn.ne.jp

和

なごみ

「まちなみ」といい、「景観」という。

建築は、空間の一部に過ぎないのだろうか。

光や風の中で、暮らしを引き継いでいく。
生活の積み重ねが、美しさを増していく。

建築の形は、

そんな時間を大切にできることではないだろうか。

できあがった時が一番いい建築でははく

百年、二百年経っても美しい

記憶と歴史を育んでいくような建築でありたい。

旬の版画

秋の風物詩 神楽

袖を振り

舞っている皇神と

竹に昇り

見栄を切っている皇神

実は この二人

どちらも『家造り匠の会』

の 会員なんです



ちょっと木になるお話 特集 『・・・の秋』

「読書の秋」「スポーツの秋」「文化の秋」「芸術の秋」「実りの秋」・・・あらゆるものが充実の時を迎えるこの季節。今回の「ちょっと木になるお話」は、ふるさとに誕生した、秋を楽しむのに相応しい“展示館”二棟を御紹介します。

資料館 小河家蔵 (竹田 上角)



珍しい小河家の家紋が、コテ絵で



『隆徳社』(注一)の移転遷座を第一の目的に建てられた蔵ですが、小河家四百年の歴史資料も展示・保管され、来訪する研究者達の資料閲覧の場ともなっています



隆徳社

(注一) 小河家内神社『隆徳社』は、入山公(岡藩三代藩主中川久清公)を主神とするもので、全国主要神社の御神札も収められている

美術館 フォーマルハウト (竹田 三砂)



竹田市三砂に井田孝子さんの美術館「フォーマルハウト」が完成しました

井田さんの作品と共に、四季を楽しめるかわいい美術館です

(フォーマルハウトの名前の由来は、ご本人に直接お聞きになってみては?)

この秋完成!!
近々オープン!



自然光がふんだんに



展示室

外には櫺
季節の移ろいを
切り取る窓



軸組



夏



タイル張り

井田さん“こだわり”のブルーのタイル理由は?

井田孝子

竹田生まれ。
1982年、女子美術大学絵画科卒。
二紀展・他に出品(入賞作多数)、併せて個展も随時開催。
2006年、個人美術館『フォーマルハウト』オープン。
二紀会同人・県美協会員

遠方まで車を走らせ、錦秋を味わうのは今の時節の醍醐味です。でも、ちょっと“お散歩”感覚で身近な秋を探すのも又一興。小河家蔵とフォーマルハウト、どちらにも一度足を運んでみて下さい。きっと“ふるさとの秋”を見つける事が出来ますよ。